

令和3年度(横浜国際)不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員行動指針を遵守し、公務員としての自覚を持った行動をとる。	○公務員として遵守すべき倫理原則に基づいた行動を常に心がけ、県民からの信用を得て、職務を遂行するように研修会を通して、周知した。
職場のハラスメントの行為の防止	職場の中でハラスメント行為が起こらないように、全員が当事者意識を持つこと。	○具体的事例を示しながら、職場研修を実施し、皆が働きやすい環境を整えた。また、職員が迅速に管理職に相談・報告できる体制を構築した。
生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	○SNSの使用から生じる危険性を生徒に周知して、教職員にはSNSによる生徒との連絡の禁止について徹底させた。
体罰・不適切指導の防止	体罰、不適切指導を未然に防止する。	○生徒に対して人権に配慮した適切な指導を行うと同時に体罰・不適切指導の未然防止を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成と取扱いに係る事故防止	点検体制を整え、職員が一つひとつの業務を確実にを行い、適切な処理をしてミスのない書類作成を行う。	○作成資料の点検について複数で複数回行うことにより、入学者選抜など確実な業務を遂行することができた。
個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底	生徒の個人情報の管理及び情報セキュリティ対策を徹底し、個人情報の流出を未然に防止する。	○個人情報の収集については最低限の人数に限定し、生徒及び保護者の承諾をとり、個人情報の保護や管理を徹底した。
交通事故、酒気帯び運転の防止と交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯び運転禁止の徹底、交通法規の遵守による交通事故の防止を目指す。	○交通事故・交通違反・酒気帯び運転防止のための研修会を開催し、職員に周知徹底した。

業務執行体制の確保	教科及びグループ業務の情報共有、業務体制を推進する。	○Microsoft Teams をプラットフォームとし、共有フォルダを活用するなどして教科における教材の共有化を進めた。また、グループ業務を複数体制で協力して行い、相互にチェックできる体制を整えた。
財務事務等の適正な執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	○各部署の会計担当者を集め、研修会を開催し、前年度の反省事項の確認や適切な会計処理の手順などを再確認した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和3年度は昨年度に引き続き、毎月の職員会議において必ず不祥事防止についての注意喚起を行い、不祥事や事故に対する教職員の意識を高めた。1つ1つの業務について、担当グループや年次団でしっかりと検討した後、速やかに、管理職へ相談する体制を醸成させることができている。スピーディーかつ正確に全体で情報の共有を行いながら取り組むことができた。

令和4年度は新学習指導要領が始まり、指導と評価など新たな対応が必要となる。初心の気持ちを忘れず、全教職員一致団結した点検体制を進めると同時に、職員研修を通して公務員としての自覚をもった行動を促していきたい。